

別紙様式 1

令和 7 年度阿賀中学校区研究推進計画

校番 (8) (阿賀小) 学校

校長名 久間 勇人

- 1 学校教育目標
自ら伸びる ともに伸びる
- 2 目指す児童生徒像
主体的に学び、ともに伸びようとする児童生徒
- 3 育成を目指す資質・能力（具体の姿）

資質・能力 設定した	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	自らへの自信	思いやり・感謝・貢献
後期		複数の事柄や資料などに関連付け、多面的・多角的に考察して、根拠をもって表現することができる。	目標に向かって、仲間と認め合いながら主体的にねばり強く、自分を向上させようとしている。	感謝の心をもち、思いやりのある行動や責任感のある態度で、地域・社会に貢献している。
中期	各教科等に関する個別の知識や技能を、それぞれの学年で確実に身に付けている。	複数の事柄や資料などに関連付け、思考・判断したことを整理したり再構成したりして、目的に応じて分かりやすく表現することができる。	目標に向かって、仲間と認め合いながら、自分を向上させようとしている。	感謝の心をもち、思いやりのある行動で、仲間や家族に貢献している。
前期		身の周りの複数の事柄や資料について、気付いたことを基に比べたり例えたりして、順序よく表現することができる。	自分のよさや可能性を生かして、意欲と自信をもって取り組んでいる。	相手のことを思いやり、進んで親切にしている。

4 研究主題等

(1) 研究主題

主体的に学び、ともに伸びようとする児童生徒の育成

～特別支援教育の視点を生かしたコミュニケーション能力の向上による居場所ひろげ・ふかめ～

(2) 設定理由（校区の児童生徒の課題分析等）

本中学校区は、令和 4、5 年度に「小中で創る『未来の学び』実践事業」の指定を受けながら、授業、生活の両面における児童生徒一人一人の「居場所」づくりに視点を当てて研究に取り組んできた。児童生徒の居場所を「絆を実感できる場」と定義し、授業における居場所づくりと生活における居場所づくりに取り組んだ。令和 6 年度は、前年度と同様に誰ひとりとり残さず、これからの時代に求められる資質・能力の育成を目指し、授業及び生活における「居場所」づくりの取組を、「居場所ひろげ・ふかめ」として継続・発展を図った。

以上の取組みの結果、全国学力・学習状況調査の児童生徒正答率が +3pt 以上、QU 検査での学級生活満足群児童生徒が前年度を上回る 65% 以上等、顕著な成果が認められた。その一方で、不登校児童生徒の割合は依然として低いとは言えない状況がある。自己肯定感や自己有用感についても、70～80% と高まりは見せているものの、呉市の目指す 85% とは隔たりがある。また、自分の考えを伝えることに自信を持っていない児童生徒もいるな

ど、今後も継続して取り組む課題も明らかになっている。この課題を解決するためには、他者と対話する環境の整備を進めるとともに意欲や技術の向上を図る必要があると考えられる。

このような実態を踏まえ、本年度は、コミュニケーション能力に重点を置き、「居場所ひろげ・ふかめ」のさらなる発展に取り組んでいきたい。阿賀中学校区では、コミュニケーション能力を「共感的な人間関係の中で、課題などについて、対話による情報共有を通して、自分の考えを伝えたり、相手の考えを聴いたりする能力」と捉えることとする。また、具体的な要素として、

心理的安全性の確保された場の整備・・・①安心・安全な学級、授業づくり

コミュニケーションの情緒的側面・・・②コミュニケーションマインド

コミュニケーションの技能的側面・・・③コミュニケーションスキル

の3つに整理する。これらの要素に、特別支援教育の視点を取り入れ、全ての児童生徒が取り組めるコミュニケーションの技能や場の設定をしていきたい。以上のことから、本研究主題を設定した。

(3) 研究仮説

特別支援教育の視点を生かしてコミュニケーション能力の向上を図れば、児童生徒一人一人の実態に応じた授業及び生活における「居場所」づくりがさらに発展し、自分らしさを発揮して他者と主体的に関わり合って伸び合おうとする児童生徒の育成につながるであろう。

5 研究内容

(1) 特別支援教育の視点を生かしたコミュニケーション能力の向上

① 安心・安全な学級、授業づくりの取組の重点

- ・ Q U 調査など、日々の実態把握を活用した人間関係づくり
- ・ すべての児童生徒にとって過ごしやすい物理的な環境整備
- ・ 多様な考えを肯定的に受け止める、教師の雰囲気づくり
- ・ 「阿賀スタンダード」(仮)の徹底
- ・ 日々のグループトークの実施(ペアトーク→グループトーク)

② コミュニケーションマインドの育成

- ・ 「自分から話したい、相手の考えを聴きたい」を生み出す問いづくり
- ・ 考える時間が確保された授業設計
- ・ 学習のねらいに応じた、自在な対話の場面設定

③ コミュニケーションスキルの育成

- ・ 発達段階に応じた話し方、聴き方の指導
- ・ 多様な表現方法の指導
- ・ 発表する場の意図的設定

◎ 昨年度までの取組

(1) 授業における居場所づくりによる資質・能力の向上

① 「分かった」「できた」を実感させるための取組の重点

ア 導入で児童生徒の「なぜ?なぜ?」を引き出す。

イ 必要感のある「対話」、効果的な「ICT活用」の場を設定する。

ウ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実により、イをより深い自己選択・自己決定につなげる。→主体的・対話的で深い学びを実現する。

エ 「発展的振り返り」により、授業と家庭学習を線でつなぐ。

(2) 生活における居場所づくりによる資質・能力の向上

①登校していない実態に応じた居場所づくり（本音で話せる・興味関心に沿うために）

- ア タブレット端末等でつながり続ける。
- イ タブレット端末による授業視聴を試みる。
- ウ S S R・「かがやきルーム」で過ごしてみる。

②登校しているが、教室に行けない実態に応じた居場所づくり（よき理解者の存在・「やってみたい」を引き出す）→S S R・「かがやきルーム」の充実

- ア 利用する子どもと一緒に環境づくり
- イ 利用する子どもと一緒にイベントを企画運営
- ウ 利用する子どものボランティア活動を企画運営
- エ タブレット端末等で所属学級とつながる

③教室にいるが、教室が居場所とは感じていない実態に応じた居場所づくり

子ども同士が絆を感じる場面を教師が黒子に徹しながら仕掛ける

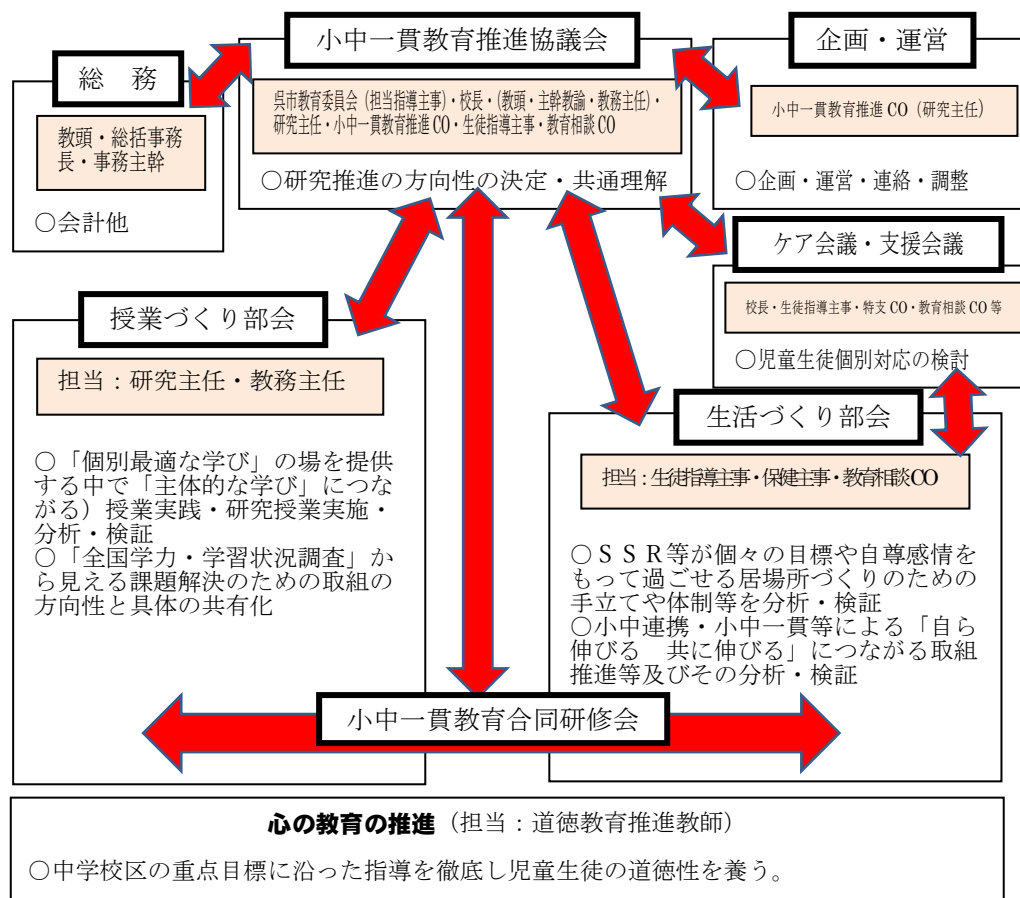
6 検証について

検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
①授業における居場所づくりによる資質・能力の向上は図れたか。	標準学力調査	全国平均との差	小学校 －2.0 中学校 －0.3	全国平均 ＋3.0
	記述分析	「分かった」「できた」と実感している振り返りの記述		
②生活における居場所づくりによる資質・能力の向上は図れたか。	Q U 検査	要支援群児童生徒の変化	小学校 2.7 % 中学校 5.1 %	5 %未満
		学級生活満足群児童生徒の変化	小学校 67.9 % 中学校 68.9 %	70 %以上
	児童生徒アンケート「自分は学級の人役に立っています」	肯定的回答の割合	小学校 79.5 % 中学校 78.3 %	80 %以上
③居場所づくりの取組による自己肯定感の向上は図れたか。	児童生徒アンケート「自分にはよいところがあります」		小学校 79.5 % 中学校 69.4 %	
	児童生徒アンケート「自分のことが好きです」		小学校 69.5 % 中学校 76.1 %	
④コミュニケーションマインドの向上が図れたか。	児童生徒アンケート「相手がどんな気持ちで聞いているかを、考えながら話そうとしていますか」 「相手がどんな気持ちで話しているかを、考えながら聴こうとしていますか」	肯定的回答の割合	—	85 %以上

⑤コミュニケーションスキルの向上が図れたか。	児童生徒アンケート「相手がどんな気持ちで聞いているかを、考えながら話せていますか」 「相手がどんな気持ちで話しているかを、考えながら聴いていますか」	肯定的回答の割合	—	85%以上
------------------------	---	----------	---	-------

7 推進体制等

(1) 推進組織



(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業等 (中→小、小→中)

(中→小)

- ① 図画工作 (6年) [2学期・3時間]
- ② 音楽 (6年) [2学期・4時間]
- ③ がんばり教室 (6年) [1日間]

(小→中)

- ④ 夏期休業学力補充 (1年) [1日間]

イ 小学校教科担任制等

2年・・・音楽

3年・・・書写、図工、理科、社会

4年・・・書写、理科、社会、音楽、図工、外国語活動

5年・・・書写、理科、社会、音楽、図工、家庭科、外国語、体育

6年・・・書写、理科、社会、音楽、図工、家庭科、外国語

8 推進計画

月 日	会合名	場 所	内 容
5月 7日(水)	小中一貫教育総会	阿賀小学校	研究の方向性の確認
	理論研修	阿賀小学校	大本カウンセラー
終了後	運営委員会①	阿賀小学校	今年度の方向性の確認
5月24日(土)	小中合同活動① 阿賀小運動会	阿賀小学校	吹奏楽部による開会式での演奏 阿賀中ソーラン隊による応援演舞
6月 3日(火)	小中合同活動②	阿賀小学校	中学校生徒会執行部による小学校生活朝会への参加
6月 5日(木)	小中合同活動③	地域へ	小中合同あいさつ運動
6月 9日(月)	公開授業①	阿賀小学校	6年算数 林田先生
	理論研修	阿賀小学校	未定
終了後	運営委員会②	阿賀小学校	公開授業、小中合同活動の反省
6月18日(水)	授業参観	阿賀中学校	小学校の教員が中学校の授業を参観
終了後	運営委員会③	阿賀中学校	授業参観、小中合同活動の反省
7月14日(月)	小中一貫だより	内容－めざすもの・公開授業・小中合同活動について	
7月28日(月)	乗入れ(中→小)	阿賀小学校	がんばり教室 (小6年・夏季休業補充学習での指導)
8月 7日(木)	小中合同研修会	阿賀小学校	特別支援教育の視点を生かした、コミュニケーション能力の向上
8月21日(木)	乗入れ(小→中)	阿賀中学校	中1年・夏季休業補充学習での指導
9月10日(水)	公開授業②	阿賀中学校	2年英語 石下先生
	理論研修	阿賀中学校	未定
終了後	運営委員会④	阿賀中学校	公開授業、小中合同活動の反省
9月11日(木)	小中合同活動④	地域へ	小中合同あいさつ運動
10月 8日(水)	小中合同活動⑤	阿賀町内	クリーンアップ阿賀(アガデミア) *アガデミア一斉避難訓練の日と重なる

10月16日(木)	乗入れ(中→小)	阿賀小学校	【小学校6年生】保健体育乗入れ授業
10月20日(月)	小中合同活動⑥	呉高専G 阿賀小G	陸上競技講習会
10月28日(火)	公開授業③	阿賀小学校	3年算数 助信先生(「学びの変革」研修)
	理論研修		未定
終了後	運営委員会⑤		公開授業の反省
11月5日(水)	合唱鑑賞会	阿賀小学校	中学校の合唱コンクール(文化発表会)で学校代表に選ばれた学級の合唱を小学生が鑑賞する。
11月6日(木)	小中合同活動⑦	地域へ	小中合同あいさつ運動
11月7日(金)	乗入れ(中→小)	阿賀小学校	【小学校6年生】図画工作乗入れ授業
11月10日(水)	乗入れ(中→小)	阿賀小学校	【小学校6年生】音楽乗入れ授業
11月25日(火) ～28日(金)	小中合同活動⑧	阿賀小学校	ソーラン講習会 中学生による小学生へのソーラン指導
12月13日(土)		阿賀公民館	アガデミア文化発表会
12月15日(月)	小中一貫だより	内容ー公開授業・アガデミア・小中合同活動・乗入れ	
1月23日(金)	オープンスクール 阿賀中入学説明会	阿賀中学校	体験授業と部活動参観 新1年生に向けての説明会
1月29日(木)	小中合同活動⑨	地域へ	小中合同あいさつ運動
冬季休業中?	運営委員会⑥	阿賀小学校	公開授業、小中合同活動、オープンスクール、入学説明会の反省
2月24日(火)	合同研修会	阿賀小学校	1年間の取組の振り返り
	理論研修	阿賀小学校	未定
終了後	運営委員会⑦	阿賀小学校	小中合同活動の反省 成果と課題の整理、来年度に向けて
3月9日(月)	小中一貫だより	内容ーオープンスクール・阿賀中入学説明会・公開授業	
3月18日(水)	運営委員会⑧	阿賀中学校	次年度の方向性の確認

※担当職員同士は運営会を受け、随時、連携を図る。

9 その他

・小中合同行事等

- ① 小中合同あいさつ運動 ② 阿賀小運動会への応援参加(吹奏楽部・ソーラン隊)
- ③ クリーンアップ阿賀(アガデミア) ④ 陸上講習会 ⑤ 合唱鑑賞会
- ⑥ ソーラン講習会 ⑦ アガデミアふれあい文化発表会 ⑧ 部活体験活動
- ・小中一貫だより『阿賀っ子』
学期に1回(年間3回)幹事校が発行する。(本年度は呉市立阿賀小学校)